

令和8年（2026年）4月



横須賀市立田浦中学校

第2学年

家庭学習のしおり

年間指導計画



保護者の皆様へ

〇はじめに

田浦中学校では、学校教育目標を次の通り掲げ、日々の教育活動を行っています。

学校教育目標 “たくましく、心豊かに”

～自他共栄のため 考え、判断し、行動する～

粘り強く取り組むことができる生徒＝「たくましく」

他者を思いやり共感できる生徒＝「心豊かに」

社会の一員として考え、判断し、行動できる生徒＝「自他共栄」

学校での学びにおいて、各教科での様々な学習活動が行われていますが、こと学力に関しては学校だけの勉強で一朝一夕に身につくものではありません。帰宅後の家庭学習等も含め、日々の積み重ねが時間をかけて少しずつお子さまの力を育てていくものと理解しています。

本冊子では、お子さまのご家庭での学習習慣づくりのために、保護者の方をはじめ、周囲の方々がどのように関わればよいかをまとめたものです。家庭で取り組める学習内容や学習時間の目安のほか、家庭で大切にしたいポイント等をまとめました。

家庭での学習習慣の形成のために役立てていただき、家庭でのお子さまへの学習支援の参考としてご活用いただければ幸いです。

2年生

《 目指したい学習習慣 》

～ 予習・復習と計画的な学習習慣 ～

✎家庭学習時間のめやす：80分

○この時期の特徴

ときには大人の言うことに素直になれず、良くも悪くも仲間や友達の影響を強く受けます。そして他人から見た自分を意識し、比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。いわゆる「思春期」真っ只中です。中学校生活を有意義に過ごすためには、部活動などとの両立が大切です。

○家庭で大切にしていきたいこと

①学習環境を整えさせましょう

部屋や机の上などは常に整頓するなど、学習への切り替えがすぐに行えるように考えさせましょう。学習内容の定着に結び付きます。

②学習習慣や方法を身に付けさせましょう

予習・復習を学習の基本とさせましょう。また、時間を有効に使えるよう、目標を持ち、集中して学習にできるようにさせましょう。

③子どもの成長を見守りましょう

心身ともに急速に成長する時期です。学ぶときの意味や学び続けることの大切さについて話す機会をもちましょう。

○生徒へのワンポイントアドバイス

【国語】

漢字は漢字のワークだけでなく、日ごろのプリントやノートに字を書く機会積極的に使っていただくことで覚えられません。また、文字主体の本を読書をしてほしいです。分からない言葉に出会ってください。辞書でも電子端末でもよいので、言葉の意味を調べてみてください。そしてそれを日常生活で試しに使ってみてください。その繰り返して、語彙を増やして行ってほしいと思います。

【社会】

授業の復習をしましょう。復習の方法は3つです。「①教科書の音読、②問題集を解く、③授業内容を家族に話す・説明する」です。特に③は家族との対話を通して学習内容の記憶を再生し強化できます。

【数学】

授業で学んだことを振り返りましょう。①教科書・ノートを見返す、②問題集を解く、③わかる問題を増やすが理想です。わからないところははっきりとさせることが大切です。次の日に自分の言葉でわかったこと、わからなかったことを伝えられると良いと思います。

【理科】

●授業があった日は、何も見ないで今日の流れを説明できるようにしてみよう！特に、『なんで？』を説明できるように意識してみよう！実際に家族や友達に説明したり、一人で声に出したりしましょう！

●その日のワーク（理科の完全学習）の範囲をその日中に解く！すぐに復習することで定着します。

【英語】

- 授業で習った内容の復習を大切にしましょう。
- 習った単語や文法内容をノートにまとめ直したり、教科書やエイゴラボを使って復習をしましょう。
- 単語や英文を声を出して練習しましょう。ぜひ、デジタル教科書を活用してください。

家庭学習を習慣化させるためのポイント

1. 生活のリズムを整える

規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を整え、家庭学習の習慣化につながります。あたりまえのことですが、早寝・早起きをする、朝食をきちんと食べる、テレビやゲーム、スマホなどの時間をきちんと決めましょう。

2. 読書をする時間を増やす

読書は子どもの感性を磨き、知識や思考の源となります。まずは、毎日子どもが読書をする時間をつくりましょう。また、地域の図書館に行き、本と出会う機会をつくりましょう。

3. 努力を認め励ます

一つのことに継続して取り組む、やや難しいことに挑戦する、そしてあきらめずにやり抜くことを経験させましょう。子どもの学習に目を向け、必要な声かけや点検を行い、粘り強い努力を本気で褒めましょう。

4. 勉強しやすい環境をつくる

家族で過ごす時間を大事にし、子どもの話を定期的に聞きましょう。

ニュースなどで、興味のある内容だけでなく、様々な内容を話題に取り上げて、社会への関心を広げましょう。

保護者の方へ

～お子さまとこんなことができますか？チェック表～

- 子どもの夢や憧れについて知っている。
- 子どもの交友関係を知っている。
- 子どものクラス、担任・副担任の先生の名前を知っている。
- 子どもの登校・下校の時刻を知っている。
- 子どもの部活動の大会や学校の行事等を見に行ったことがある。
- 1週間に1回以上子どもを誉めている
- 子どもが今持っているお金の金額を知っている。
- 一日1回以上、子どもと一緒に食事をとっている。
- 子どもと、自分の生き方や仕事について語ったり話し合ったりしたことがある。
- 子どもの将来について話し合ったことがある。

2026年度・第2学年 国語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：松本 悠

教科の到達目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人のかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行うことができるようにする。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
---------	--

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	授業期間	1.【詩・読】見えないだけ	○漢字小テスト ○文法小テスト ・活用しない自立語、活用する自立語 ・類義語、対義語、多義語 ・敬語 ○テスト振り返り ○単元ごとの最終レポートの記述(単元番号3) ○短歌創作	○単元ごとの最終レポートの記述(単元番号1、2、5)	○振り返りシートの記述 ○テスト振り返り ○お礼状 ○漢字ワーク
		2.【小説・読】アイスプラネット			
		3.【聞】意見を聞き、整理して検討する			
		4.【文法】活用しない自立語、活用する自立語、敬語、お礼状			
		5.【報告・読】クマゼミ増加の原因を探る			
		6.【読書活動】読書を楽しむ			
		7.【短歌・書】短歌を味わう			
		定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	○読書記録	
後期	授業期間	1.【書】モアイは語る→適切な根拠を選んで書く(意見文を書く)	○漢字小テスト ○文法小テスト ・付属語 ・同音異義語 ○書写(行書の基礎、字のバランス) ○意見文(原稿用紙の使い方、根拠や主張の適切さ)	○単元ごとの最終レポートの記述(単元番号1, 3, 4, 5, 8)	○振り返りシートの記述 ○テスト直し ○漢字ワーク
		2.【評論・読】君は「最後の晩餐」を知っているか			
		3.【古文・読】枕草子、平家物語			
		4.【漢文・読】漢詩の世界			
		5.書写			
		6.【文法】付属語、同音異義語			
		7.【小説・読】走れメロス			
	8.【小説・読】ヒューマノイド				
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・職場体験のお礼の手紙(前期5月頭、総合)
- ・職場体験の報告プレゼンテーション(後期12月、総合)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・漢字ワーク

家庭での学習への取り組み方について

1. 学習中の単元の本文をすらすら読めることを目指して音読する。(10分)
→一段落だけでもいいので、読めない漢字をなくしたり、読みづらい言葉をスムーズに読めるまで何回か声に出して読む
ことが効果的です。次第に文章の内容が頭に入ってきます。
2. 自分の好きな本(小説や評論)を読む。

2026年度・第2学年 社会科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：清田 直紀・青木 邦勲

教科の到達目標	<p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚などを深める。</p>
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. 歴史的分野 中世の日本	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション
		2. 日本の地域的特色			
		3. 日本の諸地域 九州			
		4. 日本の諸地域 中国四国			
		5. 日本の諸地域 近畿			
		日本の諸地域 中部			
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の踏まえた評価	
夏休み	なし	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1. 日本の諸地域 東北	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション
		2. 日本の諸地域 北海道			
		3. 日本の諸地域 関東			
		4. 日本の諸地域まとめ			
		5. 近世の日本と世界			
		日本の近代化と国際社会			
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の踏まえた評価	
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの)：

- 国語：対話・話し合い、プレゼンテーションづくり(言語活動)、歴史人物が残した短歌や文学作品への理解
- 数学：グラフ・表の読み取り技能
- 理科・技術家庭科：地域や気候に応じた生活(衣食住)
- 美術：世界・日本の代表的な芸術作品への興味や理解

授業前の取り組み(ベル学習)：

- ・地名探し、PCを活用したクイズ、年表クイズ、問題集の一問一答、問題集をチェック式で解くなど

家庭での学習への取り組み方について

1. 授業内容について保護者や家族に話し、対話を通して復習したり、発展的に考えたりする
2. 社会科に関連するニュースにふれる(TV、WEB、新聞など)
3. 教科書の音読、黙読
4. 問題集を解く
5. 教育系WEBページを活用した自主的な学習(ドリル形式のものや動画視聴など)

2026年度・第2学年 数学科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：後藤 恭輔

教科の到達目標	<p>(1) 正の数と負の数, 文字を用いた式と一元一次方程式, 平面図形と空間図形, 比例と反比例, データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数理的に捉えたり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲を拡張し, 数の性質や計算について考察したり, 文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力, 図形の構成要素や構成の仕方に着目し, 図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力, 数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし, その特徴を表, 式, グラフなどで考察する力, データの分布に着目し, その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり, 不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度, 多面的に捉え考えようとする態度を養う。</p>
----------------	---

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	授業期間	1.式の計算	・小テスト ・単元テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)	・小テスト ・単元テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り・ レポートなど)	・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)
		2.連立方程式			
		3.一次関数			
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の 確認	基礎的・応用的な内容の 確認	なし	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	問題集	
後期	授業期間	1.図形の性質の調べ方	・小テスト ・単元テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)	・小テスト ・単元テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り・ レポートなど)	・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)
		2.三角形, 四角形			
		3.確率			
		4.データの比較			
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の 確認	基礎的・応用的な内容の 確認	なし	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	問題集	

横断的学習(主なもの):

理科: 1次関数を使って, 水の沸騰の時間の関係を考える。総合的な学習: 三角形・四角形の図形の証明における, 筋道を立てて, わかりやすく伝える手法の習得。家庭科: 割合を使って, 食品の分量の求める。

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・前回の学習内容の確認
- ・問題集に取り組む

家庭での学習への取り組み方について

1. まず, 教科書の例題が理解できているか確認しましょう
2. 用語や記号の意味や基本的な作業が身についているか確認しましょう
3. ここまでできていたら基本的な問題を多く解いてみましょう
4. うまくいかない場合は原因を見つけて対策しましょう
5. さらに難易度を高めてチャレンジしてみましょう
6. 身の回りのさまざまな「もの」と数学の学習内容の関連に目を向けてみましょう

2026年度・第2学年 理科科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：前田 綾香

教科の到達目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.化学変化と原子・分子	・章テスト ・授業プリントの記述内容(化学実験プリント、生物の観察プリント) ・課題への取り組み(実験技能、観察技能)	・章テスト ・授業プリントの記述内容(化学実験プリント、生物の観察プリント) ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容	・授業プリントの記述内容(化学実験プリント、生物の観察プリント) ・見通シートの記述内容 ・テストふりかえり ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容
		2.生物のからだのつくりとはたらき			
	前期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	自由研究レポート
後期	課業期間	1.天気とその変化	・章テスト ・授業プリントの記述内容(天気実験プリント、生物の観察プリント) ・課題への取り組み(実験技能、観察技能)	・章テスト ・授業プリントの記述内容(天気実験プリント、生物の観察プリント) ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容	・授業プリントの記述内容(天気実験プリント、生物の観察プリント) ・見通シートの記述内容 ・テストふりかえり ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容
		2.電気の世界			
	後期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの)：

国語(命題・論理的な文章)、社会(エネルギー政策、科学史と文化)、数学(比例反比例・1次方程式)、保健体育(人体と健康、食生活)、技術家庭科(調理、洗濯、電気)、道徳(環境保全、SDGs、生命)、総合的な学習の時間(地域防災)

授業前の取り組み(ベル学習)：

- ・前回のプリントを見返すなど前回の復習
- ・問題集(理科の完全学習)をに取り組む

家庭での学習への取り組み方について

1. 授業があった日は、何も見ないで今日の流れを説明できるようにする! 『なんで?』を説明できるように意識してみよう! 実際に家族や友達に説明したり、一人で声に出したりしましょう!
 2. できたら、その日のワーク(理科の完全学習)の範囲を解く! 一度でも解くことで、テスト前の勉強がぐっと楽になります。ただし、ワークの解き方には決まりがありますので、これに沿って行ってください。
 - ① 別冊のノートに問題を解く。わからない問題は空欄にしておく。
 - ② 赤ペンで○付けをする。
 - ③ 間違えた問題、空欄にしてしまった問題は、赤で答えを書き込む。
 - ④ 間違えたところや分からなかったところだけ別のノートにもう一度解く。
- ※②～④を繰り返して、分からないところがなくなるまで、粘り強く続けましょう!

2026年度・第2学年 英語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：小林 瑞木

教科の到達目標

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.1年生の復習	単語テスト	単語テスト	単元ふり返り・ノート記述
		2.be going toとwill	リスニングテスト	CAテストの取り組み(表現ややり取り)	単語テスト
		3.5つの文構造	単元テスト	CAテストの取り組み(原稿)	単元テストの観点状況を踏まえた評価
		4.接続詞	CAテストの取り組み(原稿)	既習事項を活かして、情報を捉え、自分の考えや気持ちを表現できている。	CAテストの取り組み
		5.依頼・許可	音声・語彙・表現・文法・言語の働きを理解し、コミュニケーションを取ることができている。	コミュニケーション活動	相手の事を考えて「読む」「聞く」「話す」「書く」活動に取り組もうとしている。
		6.不定詞			コミュニケーション活動
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	定期テストのふり返り 「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	ワークブック ノート作り	
後期	課業期間	1.不定詞	単語テスト	単語テスト	単元ふり返り・ノート記述
		2.must と have to	リスニングテスト	CAテストの取り組み(表現ややり取り)	単語テスト
		3.動名詞	単元テスト	CAテストの取り組み(原稿)	単元テストの観点状況を踏まえた評価
		4.比較表現	CAテストの取り組み(原稿)	既習事項を活かして、情報を捉え、自分の考えや気持ちを表現できている。	CAテストの取り組み
		5.受け身	音声・語彙・表現・文法・言語の働きを理解し、コミュニケーションを取ることができている。	コミュニケーション活動	相手の事を考えて「読む」「聞く」「話す」「書く」活動に取り組もうとしている。
					コミュニケーション活動
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	定期テストのふり返り 「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

ロボット(技術) SDGs(社会)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・ノート作り
- ・学習した部分のワークブック問題に取り組む
- ・小テストに向けた復習

家庭での学習への取り組み方について

- 1.教科書の新出単語の音読、書く練習をする。
(ノートに教科書の進出単語を1単語3回以上書き、練習する。※本文も書き写す)
- 2.副教材 エイゴラボの問題に取り組む。
習った箇所の問題を解き、復習をこまめにする。
(丸付け直しを必ず行い、できた箇所と見直すべき箇所を明らかにする。)

コミュニケーション能力を伸ばすために、語彙の充実と、それらの正しい表現方法を知ることが大切です。知識として覚えるだけでなく、自在に使えるようになるように、日頃から「読み」、「書き」を通して英語に触れましょう。

2026年度・第2学年 音楽科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：五十嵐 冬馬

教科の到達目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、感性を磨き、音楽に親しんでいく態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. サミングを使ってみよう	【知識】 ・ワークシート ・(単元テスト)	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・(単元テスト)	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・授業への取り組み方 (楽器を正しく扱えているか・合唱への取り組み姿勢など)
		2. 交響曲について知ろう			
		3. 学年での合唱を作り上げよう	【技能】 ・歌唱テスト →音程・声量など ・器楽テスト →指使い・アンサンブルなど		
		4. クラスでの合唱を作り上げよう			
	定期テスト(期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	なし	自由課題あり	自由課題あり	自由課題あり	
後期	課業期間	1. 箏を弾いてみよう	【知識】 ・ワークシート ・(単元テスト)	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・(単元テスト)	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・授業への取り組み方 (楽器を正しく扱えているか・合唱への取り組み姿勢など)
		2. アンサンブルをしてみよう			
		3. 転調させてみよう	【技能】 ・歌唱テスト →音程・声量など ・器楽テスト →指使い・アンサンブルなど		
		4. 卒業生を送る合唱を作ろう			
		5. 日本の伝統芸能を知ろう			
	定期テスト(期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・ 絵画と音楽の関係性について(美術)
- ・ ダンスにおけるリズムの取り方(体育)
- ・ 数字と音楽(数学)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・ 楽器の準備
- ・ 前回の復習

家庭での学習への取り組み方について

1. 音楽を聴く時間を確保する
2. 授業での学習成果を家族に披露する
3. 音楽の話を家族としてみる(家族に中学生のころ流行った曲を聞いてみる)

2026年度・第2学年 美術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：高橋 沙希

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美しいものにあこがれを持ち、前向きに制作に取り組む。 ・作品や文化財を大切に育てる。 ・道具や用具を大切に扱いケガなく安全に制作する心育てる。 ・時間を守り最後までやり遂げる心育てる。 ・自分や友達の作品の良さを認め合い、他者と協力して作品を作りあげる心育てる。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. ヒット商品の謎を解け	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土による立体のとらえ方と丁寧さ ・着色の技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の良さや課題を伝えるキャラクターのアイデア 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の完成度 ・ワークシートの完成度 ・振り返りシート ・作品の取り組み方
		2. 見守って! 私たちのキャラクター			
	定期テスト(期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1. 挑戦! 使いやすい形を求めて	<ul style="list-style-type: none"> ・描画材による丁寧な着色 ・彫刻の技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのイメージ発想 ・機能性を考えたデザインの追求 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの完成度 ・作品の取り組み方 ・作品の完成度 ・振り返りシート
		2. 墨で表現する楽しさ			
		3. ミュージックイメージ			
	定期テスト(期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・木材の性質と木材加工(技術科)
- ・ユニバーサルデザイン(各教科)
- ・音と音色(音楽科)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・学習カードの記入
- ・アイデアスケッチを進める

家庭での学習への取り組み方について

1. 日常生活における美しい形・色彩・光などの効果を感じられる心を持たせる。

2026年度・第2学年 技術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：島田 直也

教 科 の 到 達 目 標	(1) 電気などのエネルギーの特性・原理・法則について理解する。 (2) 問題を見出して課題を設定し、電気回路を計画し、具体化できる。 (3) 動力伝達の仕組み、必要性について理解する。 (4) 問題を見出し課題を設定し、電気回路を計画し、具体化できる。 (5) 生物育成の技術についての科学的な原理・法則について理解する。 (6) 課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現できる。
---------------------------------	---

学 期	期 間	単元計画 ※課業期間は学習順	各 観 点 の 評 価 計 画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前 期	課 業 期 間	1. エネルギー変換の技術	単元テスト テーブルタップ 電気回路の製作 工具等の使い方	工具等の使い方 レポート 電気回路の製作 学習カード 作業方法・手順	単元テスト レポート 工具の使い方 学習カード 作業方法・手順
		2. テーブルタップの製作			
		3. 電気回路の設計・学習			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏 休 み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後 期	課 業 期 間	1. 生物育成の技術	単元テスト 電気回路の製作 動力伝達作品 生物の育成 工具等の使い方	工具等の使い方 レポート 生物育成計画 ワークシート 製作品 学習カード 作業方法・手順	単元テスト レポート 生物育成計画 工具の使い方 学習カード 作業方法・手順
		2. 生物育成の技術(実習)			
		3. 課題解決に向けた製作			
		4. 回転運動を伝える仕組み			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬 休 み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

なし

授業前の取り組み(ベル学習):

・3分前には授業準備をしておく。(教材等を含む)

家庭での学習への取り組み方について

1. 学校で学んだことを保護者など人に話す(アウトプット)
2. 学校で学んだことと家庭生活とのつながりを確認する。
3. 個人端末や家のPCなどを用いてクラスルームで共有された内容を復習する。(動画・資料等)
4. 問題解決に取り組むために普段から家庭での生活に目を向ける。

2026年度・第2学年 家庭科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：外崎 愛莉

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で食事が果たす役割、必要な栄養の種類や働き特徴やよい食習慣について理解する。 ・問題を見出し、よりよい食習慣や1日分の献立について工夫する。 ・用途に応じた食品の選択や調理方法を理解し選択する。 ・食品や調理器具などの安全と衛生に留意した管理が理解し、できる。 ・購入方法や支払い方法の特徴、売買契約の仕組み、消費者被害の背景を理解できる。 ・物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入を工夫する。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	授業期間	1. 私たちの食生活	・ワークシート ・単元テスト ・献立作成レポート ・調理実習計画	・ワークシート ・献立作成レポート ・調理実習計画 ・調理実習レポート	・単元テスト ・授業の振り返り ・献立作成レポート ・調理実習レポート
		2. 調理実習			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
	夏休み	既習事項の確認	・夏バテ対策の食事を 作ってみましょう	・夏バテ防止の食事を 作ってみよう	・夏バテ防止の食事を 作ってみよう
後期	授業期間	1. 私たちの食生活	・ワークシート ・道具等の使い方 ・単元テスト ・調理実習計画	・ワークシート ・調理実習計画 ・調理実習レポート ・商品購入レポート	・ワークシート ・授業の振り返り ・調理実習レポート ・商品購入レポート
		2. 調理実習			
		3. 私たちの消費生活と環境			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの)：

「食生活と栄養」「献立作りと食品の選択」⇒理科「生命を維持する仕組み」
 保健体育「食生活と健康」
 技術「生物育成の技術」

授業前の取り組み(ベル学習)：

・前時の学習をふり返る。

家庭での学習への取り組み方について

1. 授業で作った料理など、家族にも作ってみる。
2. 授業で学んだことを、日常生活で実践する。

2026年度・第2学年 保健体育科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：秋本 翔平

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.体づくり運動	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト 【技能】 ・体ほぐし・体の動きを高める運動の行い方 ・跳び箱のフォーム ・平泳ぎのフォーム ・幅跳びのフォーム	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト ・課題解決のための取り組み方 ・班やグループでの話し合い方 ・単元テスト	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための取り組み方 ・班やグループでの話し合い方 ・健康、安全の留意の仕方
		2.器械運動(跳び箱運動)			
		3.水泳			
		4.陸上競技(走り幅跳び)			
		5.保健			
		6.体育理論			
	定期テスト(期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	なし	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.球技(バスケットボール)	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト 【技能】 ・ボールや用具の操作、空間を使う動き方 ・ペースを維持した走り方 ・体のさばき方や竹刀の使い方	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト ・課題解決のための取り組み方 ・班やグループでの話し合い方 ・単元テスト	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための取り組み方 ・班やグループでの話し合い方 ・健康、安全の留意の仕方
		2.ダンス			
		3.陸上競技(長距離走)			
		4.球技(バドミントン)			
		5.武道(剣道)			
		6.保健			
	7.体育理論				
定期テスト(期末)	実施しません	実施しません	実施しません		
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

理科:地震の仕組み
家庭科:栄養について

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・整列
- ・用具の準備
- ・準備運動

家庭での学習への取り組み方について

1. 自ら運動する時間を確保する。
2. 運動に親しむ場を家族で共有する。